

はじめに

まず冒頭に、インターンシップ生を受入頂いた企業・団体の皆様に、インターンシップ制度推進委員会として厚く御礼申し上げます。

和歌山県におけるインターンシップ制度は、全国で産学官連携活動が進展する中、平成10年10月に、和歌山県経営者協会と和歌山大学システム工学部、和歌山県で開催した「わかやま産学官交流懇談会」において、県下の企業・団体を実習先として導入することが取り決められました。そして、平成11年2月には、和歌山県経営者協会と和歌山大学システム工学部、近畿大学生物理工学部、近畿通商産業局、和歌山県など関係機関が構成メンバーとなり「インターンシップ制度研究委員会」（平成15年度より「インターンシップ制度推進委員会」となる）を和歌山県経営者協会内に設置し、インターンシップ制度導入に向けての検討を始め、平成11年夏から和歌山大学システム工学部の学生を対象に本格的にスタート致しました。

平成12年度から平成21年度にかけて和歌山大学全学部、和歌山信愛女子短期大学、Uターン学生（県外大学に就学する県内出身学生）、近畿大学生物理工学部、和歌山工業高等専門学校の学生も対象に制度の拡大を図ってきました。また、県外の学校ではありますが、県内にサテライトを開設した羽衣国際大学が平成24年度から県内校扱いで参画されています。今年度は新たに高野山大学が参画しました。

事業主体は当初の近畿通商産業局から経団連、厚生労働省へと変遷してきましたが、平成22年に入り、和歌山県からインターンシップ制度を「産業人材確保推進事業」の中で実施する方針が出され、和歌山県経営者協会がこの事業を受託し、継続して推進することになりました。その後、「産業人材確保推進事業」の終了に伴い、平成24年度から、和歌山県のインターンシップ単独の事業となり、引き続き和歌山県経営者協会が受託し現在に至っています。

平成29年度も和歌山県からの委託事業として、4月から参加企業・団体と参加学生の募集を短期間で行い、前述の県内校6校と55の県外大学（Uターン学生対象）から342名の学生応募と113の企業・団体から443名の学生受入の申込を頂き、最終的に83企業・団体に、309名の学生を派遣することが出来ました。これらの実績については、本委員会の構成メンバーをはじめ企業・団体の皆様方、関係各位のご尽力の賜であり心から感謝を申し上げます。

平成29年度インターンシップ報告書を取り纏めさせて頂きました。今後の参考にご活用頂ければ幸いです。

学生のインターンシップへの関心が益々の高まりを見せている一方で、企業側においても景気回復や人材不足感から採用活動を背景としたインターンシップの取組み強化が必須の状況となっています。本委員会では、これまでの実績を礎に次年度に向けて、さらに学生を育成するために、多くの皆様方のご意見を反映させながら、検討を重ね、より充実した取組みを進めていきたいと考えますので、引き続き宜しく願い申し上げます。

平成29年12月

和歌山県経営者協会

インターンシップ制度推進委員会

委員長 松本 卓也

— も く じ —

はじめに

| | |
|-------------------------------|-----|
| I.実施概要 | 1 |
| 1) 平成29年度インターンシップ実施の主な経緯 | |
| 2) 学生受入企業等の概要 | |
| 3) 参加学生の概要 | |
| 4) 学生受入企業等・参加学生の推移 | |
| 5) インターンシップ参加大学一覧表 | |
| II.実施成果のまとめ | 12 |
| 1) 平成29年度インターンシップ実施の概況 | |
| 2) 本委員会の総括 | |
| 3) 学校の総括 | |
| 4) 企業・団体のアンケート調査結果 | |
| 5) 参加学生のアンケート調査結果 | |
| 6) インターンシップ事前研修会の実施 | |
| III.インターンシップ実施事例 | 45 |
| 資料編 | 103 |
| 1) インターンシップ制度推進委員会名簿 | |
| 2) インターンシップ制度とは | |
| 3) 「わかやまインターンシップ」制度の流れ概要 | |
| 4) 学生受け入れ申込書 | |
| 5) 企業などが学生を受け入れるためのガイドライン | |
| 6) 学生のエントリーシート様式 | |